

鳴門海峡を往来する「大鳴門橋自転車道」の実現に向けて

徳島県 県土整備部 高規格道路課 須藤 孝彦 (徳島・兵庫県共同事業)

【自転車道設置の目的】

徳島県では、サイクリングに対する需要が高まっている中、兵庫県と連携し、大鳴門橋の「桁下の新幹線空間（四国新幹線整備までの期間）」を活用した自転車道を設置し、

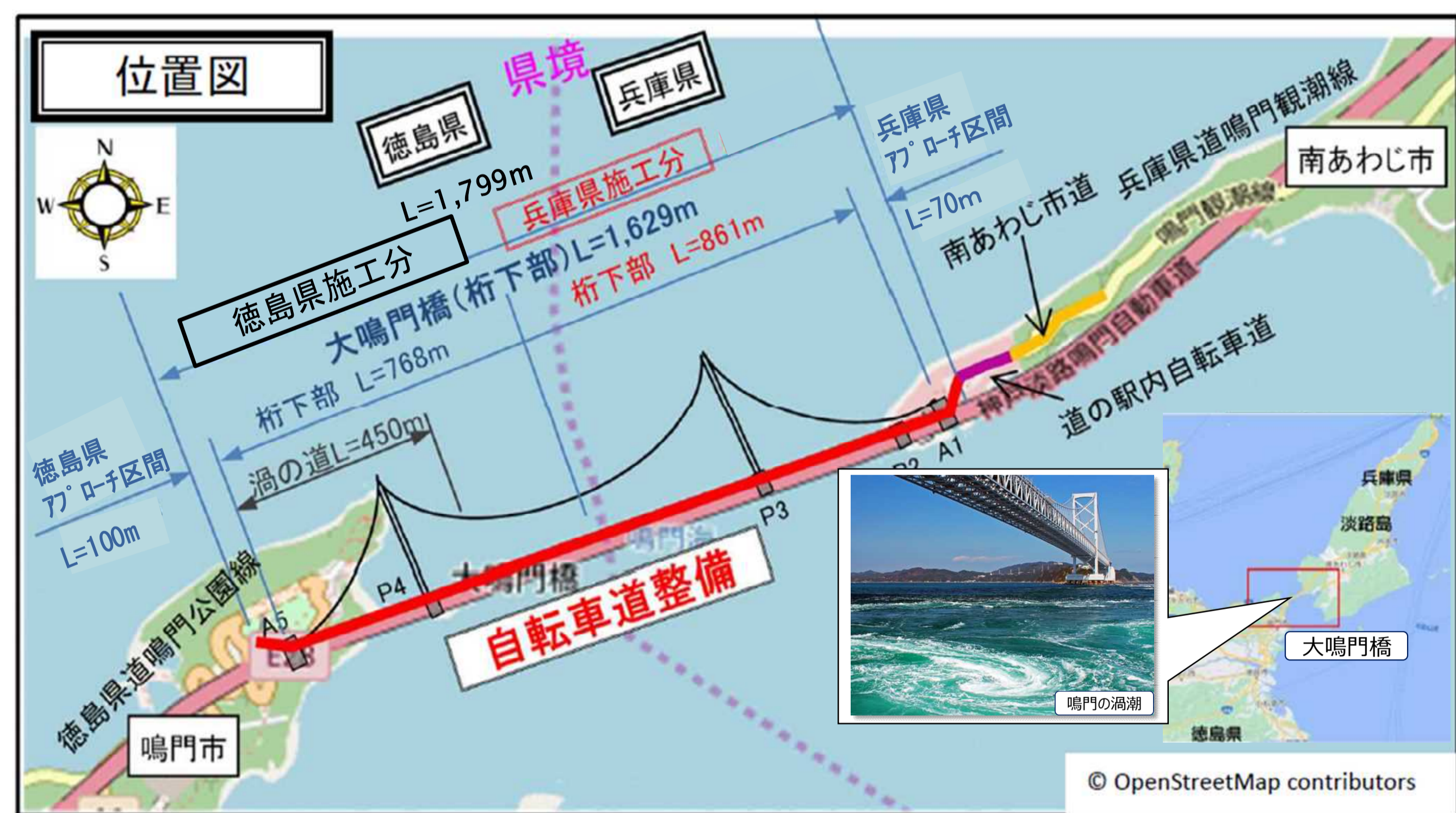
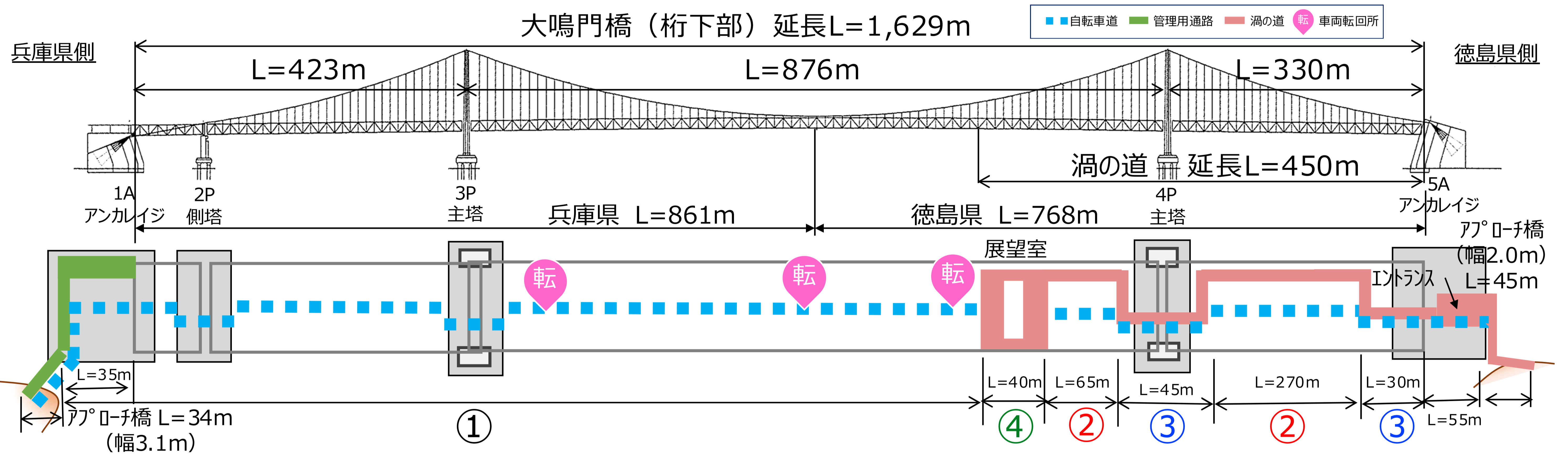
- ・ 交流人口の拡大（鳴門海峡の往来）
- ・ 観光振興の推進（サイクルツーリズムの推進）
- ・ ポストコロナ新時代の生活様式変容に対応するための「自転車人口拡大」に繋げる。

【検討の経緯】

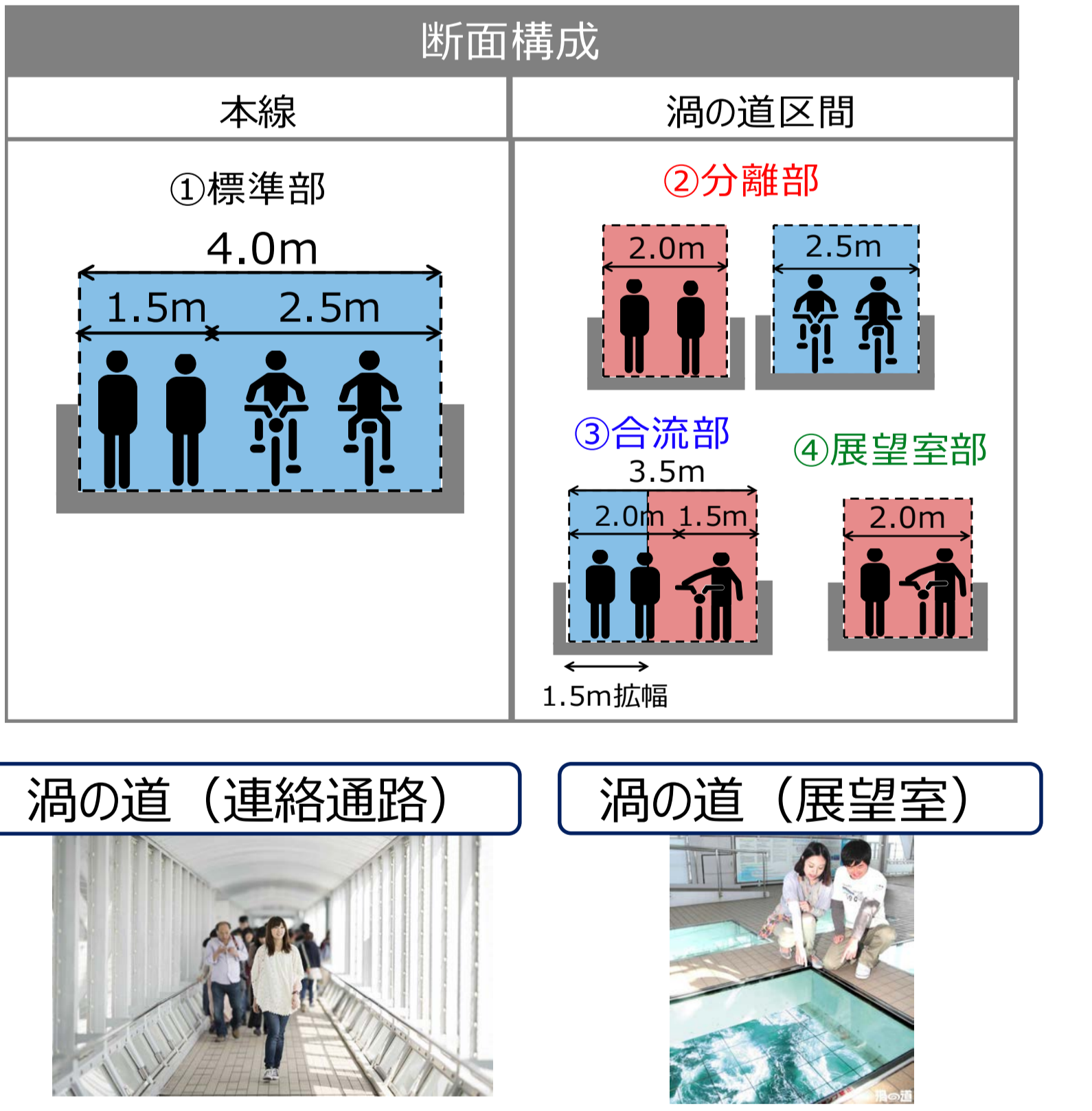
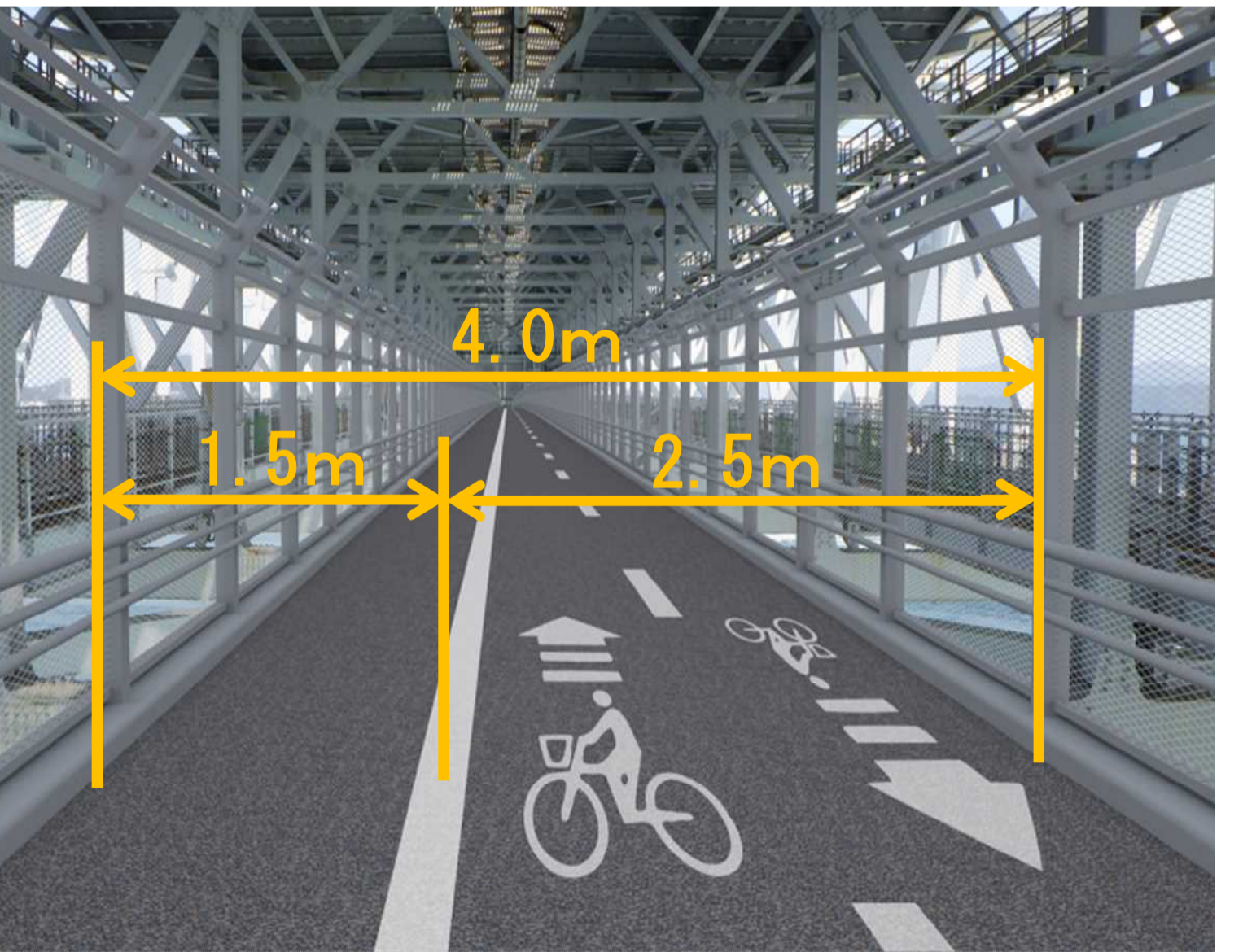
- 平成30年度
風洞試験等により検討を開始
- 令和元年度
自転車道が設置できることを解析結果等により確認
- 令和2～3年度
自転車道の施設配置や施工条件を考慮した構造を検討
- 令和4年度
ソフト面（管理運営、魅力向上）について、検討を開始

【事業概要】

- ① 延長：1,799m（桁下部1,629m 両県アプローチ部170m）
うち、徳島県：868m（本線318m、渦の道他550m）
兵庫県：931m
- ② 幅員：■本線部
①標準部 4.0m（自転車2.5m、歩行者1.5m）
■渦の道区間
②分離部 自転車2.5m、歩行者2.0m
③合流部 3.5m（自転車1.5m、歩行者2.0m）
④展望室部 2.0m
※③、④においては自転車は押し歩きを想定
- ③ 総事業費：約5.8億円（徳島・兵庫両県）
※観光施設として整備
- ④ 予定期間：工事着手後4～5年
※令和5年度の事業着手に向け、検討中
- ⑤ 需要予測：年間約6.5万人～7.5万人（渦の道含む）
うち、サイクリスト約9万人（マイ自転車）
※Webアンケート結果から算出
※R元年度「渦の道」利用者：約5.5万人



【自転車道整備イメージ】



【広域サイクルルートの拠点化】

3つの広域ルートの唯一の接点「鳴門」
様々なサイクリングルートへ接続

- ・ 「セトイチ」
「しまなみ海道」を走行する
瀬戸内海一周ルート
- ・ 「アワイチ」
ナショナルサイクルルートの指定に向けた
取り組みが進む淡路島一周ルート
- ・ 「シコイチ」
四国4県が連携して進めている
四国一周ルート

